

## 第38回 荒川区政世論調査

荒川区では、区民の皆様のご意見やご要望を区政に反映するため、毎年、区政世論調査を実施しております。その中の「現在、区が力を入れていると思う事業」、「今後、区に力を入れてほしい事業」がまとまりましたのでご報告致します。

### 【現在、区が力を入れていると思う事業】

|       | 第1位                  | 第2位                  | 第3位                  | 第4位                  | 第5位                 | 第6位                          |
|-------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------|
| 平成25年 | 高齢者福祉の充実 32.7%       | 放置自転車対策 31.7%        | 健康づくりなどの保健衛生対策 28.7% | 幼児・児童の子育て支援の充実 25.1% | 公園の整備充実・緑化の推進 20.2% | 地震などの防災対策 17.7%              |
| 平成24年 | 健康づくりなどの保健衛生対策 33.2% | 高齢者福祉対策 29.5%        | 放置自転車対策 25.2%        | 公園の整備充実・緑化対策 17.9%   | 幼児・児童の子育て支援対策 17.6% | 資源循環のシステムづくりなどのリサイクル対策 14.7% |
| 平成23年 | 高齢者福祉の充実 31.6%       | 健康づくりなどの保健衛生対策 27.8% | 放置自転車対策 25.7%        | 公園の整備充実・緑化対策 20.0%   | 幼児・児童の子育て支援対策 19.8% | 地域防犯への取組み 14.3%              |

### 【今後、区に力を入れてほしい事業】

|       | 第1位             | 第2位            | 第3位                 | 第4位                 | 第5位                        | 第6位   |
|-------|-----------------|----------------|---------------------|---------------------|----------------------------|-------|
| 平成25年 | 地震などの防災対策 38.6% | 高齢者福祉の充実 31.6% | 地域防犯への取組み 24.3%     | 幼児・児童の子育て支援対策 21.8% | 子供の安全対策<br>公園の整備充実<br>緑化対策 | 19.0% |
| 平成24年 | 地震などの防災対策 37.3% | 高齢者福祉対策 29.3%  | 地域防犯への取組み 21.0%     | 幼児・児童の子育て支援対策 19.3% | 子供の安全対策                    | 18.0% |
| 平成23年 | 地震などの防災対策 41.4% | 高齢者福祉対策 32.1%  | 幼児・児童の子育て支援対策 21.6% | 地域防犯への取組み 21.2%     | 子供の安全対策                    | 16.2% |

#### ◆調査の概要

- 調査対象 区内在住の満20歳以上の男女
- 調査期間 平成25年8月30日～9月23日
- 対象者数 2500人
- 調査方法 郵便配布、郵送または電子申請による回収
- 抽出方法 層化2段階無作為抽出
- 有効回収数(率) 1364件(54.6%)

## 平成25年度 荒川区功労者表彰



(特別功労者表彰を受ける川島一太様)

多年にわたり荒川区の発展のために力を尽くされた方々の功績をたたえ、感謝の意を表すため、昨年、荒川区功労者表彰式が行われました。特別功労者として川島一太様(西尾久4丁目)が表彰されました。川島様は西尾久4丁目町会区民レスキュー隊を結成し隊長として永年にわたり地域の防災活動にご尽力されました。そして、私、竹内も所属する尾久消防団第六分団の活動にもご理解、ご支援を頂いております。

# 荒川区議会レポート



荒川区議会議員

第10号

民主党・市民の会

●平成26年(2014)

## 竹内 あきひろ

### 平成25年第4回定例会報告



平成25年荒川区議会第4回定例会(11/27～12/9)が終了しました。今定例会で民主党・市民の会を代表して私、竹内あきひろは議員になって3回目の一般質問をさせて頂きました。本年も民主党・市民の会として災害に強い街づくり、そして子どもから高齢者まで「癒しの場と活躍の場のあるまち荒川区」を目指して参りたいと考えております。

## 平成26年度 新年度予算 過去最大規模の932億4千万に！！

平成26年度の一般会計予算は過去最大の932億4千万円の編成となる見込みです。荒川二丁目の図書館・吉村昭文学館などの複合施設(床面積1万㎡)やサンパール荒川の大規模改修、タブレットPCを利用した小中学校教育の充実などの経費の大幅増が主な要因となり、前年度と比べ68億円(前年比7.9%)増の予算編成が組まれております。また、特別会計を合わせた全会計の予算規模は1,401億円となります。

### 【平成26年度予算主要事業】(抜粋)

- 荒川二丁目複合施設の整備 . . . . . 25億2,635万円
- サンパール荒川の大規模改修工事 . . . . . 10億4,358万円
- タブレットPCを活用した学校教育の充実 . . . . . 7億9,952万円
- 小規模事業者経営力向上支援事業の実施 . . . . . 1億 356万円
- 商業事業者支援の充実 . . . . . 1億2,372万円
- 放課後子どもプランの拡充 . . . . . 5億2,290万円
- 待機児童解消に向けた保育施設の整備 . . . . . 9億2,071万円
- 不燃化特区整備促進事業の拡充 . . . . . 7億 201万円
- 新区民運動場の開設 . . . . . 4億5,694万円



## 第4回定例会 一般質問

先般、第4回定例会（11月27日～12月9日）が終了し今定例会では私自身、3回目となる一般質問をさせて頂きました。以下、質問事項と理事者の答弁を一部掲載致します。

### 1. 成年後見制度の積極的活用の一環として「市民後見人」養成強化について

質問) 成年後見制度の荒川区における取り組みと利用実績を問う

答弁) 区における24年度の成年後見制度の区長申立件数は17件、社会福祉協議会が実施する法人後見は3件となっている。一般市民を後見人とする例は現在のところないが、今後、市民後見人の必要性は増すと考えている。

質問) 今後、成年後見人の担い手である弁護士等専門職の不足が懸念されている。地域住民による市民後見人の早期養成と活動支援の取組みが急務だと考えるがどうか

答弁) 市民後見人として活動するためには養成研修を受ける必要がある。社会福祉協議会との連携や近隣区等と養成研修の共同実施等を検討しており、今後、育成に努める。

市民後見人とは、家庭裁判所から成年後見人等として選任された一般の方々であり、専門組織による養成と活動支援を受けながら、市民（区民）としての特性を活かした後見活動を地域における第三者後見人の立場で展開する権利擁護、地域福祉の担い手。東京都及び世田谷区、品川区も取組みに着手している。

### 2. 防災対策について

質問) 隅田川の水を利用した永久水利の整備を評価するが、同時に迅速な消火活動や延焼防止活動を行うために、水利近くに必要資器材も用意すべきと考えるがどうか

答弁) 隅田川からの水を利用した永久水利付近に必要な資器材、施設等を置くべきとの意見はそのとおりである。今後、「永久水利整備活用推進協議会」でも、その意見を提出していく。

質問) PTAによる設置委員会が行う校庭開放時に地震等の大規模災害が発生した場合、どのように対応したらよいか不安に思っている。早急に対応マニュアルを策定し、関係者に周知すべきと考えるがどうか

答弁) 区内の小中学校において学校毎に校庭利用実施委員会を組織し、土・日曜日などの学校休業日に校庭を遊び場として開放する校庭利用事業を実施している。首都直下を震源とする大地震の切迫性が強く叫ばれている中、教育委員会としても災害時に児童生徒の安全を図るためにはあらゆる事態を想定した予防体制を構築することが必要であると認識している。

校庭利用にご協力頂いている方々が、万が一大地震が発生しても迅速かつ適切な対応が出来るよう、具体的な対応方法を手引きに盛り込んでいく。

質問) 瑞光小学校で社会福祉協議会が実施した「カエルキャラバン」は、親子で楽しく防災体験する有意義なイベントであった。今後、より効果的に実施していくために学校やPTAに周知を図ったら良いと考えるがどうか

答弁) 教育委員会としては、日頃の児童生徒の防災訓練に加え、学校施設を会場とした避難所開設運営訓練に教職員やPTA、児童生徒が積極的に参加するなど、防災意識の普及啓発に努めている。紹介いただいた「カエルキャラバン」は親子で楽しみながら学べる体験型の防災訓練で、社会福祉協議会が主催し、区と教育委員会が後援し、今年度初めて瑞光小学校を会場に実施をした。

地域防災力の強化を図るためには、多くの区民の方々に繰り返し訓練に参加いただくことが重要であり、教育委員会としても、こうした区民の自主的な防災への取組みが、他の地域でも広く展開されるよう、PTA等への周知を含め積極的に事業展開を図っていく。



(ジャッキアップゲーム)



(紙食器づくり)



(防災カードゲーム)



(水消火器的あてゲーム)

### 3. タブレットパソコン教育のメリットとデメリットについて

質問) タブレットパソコンの全校展開に向けて、効果的な活用事例の共有化が必要と考えるがどうか。また、機器の不具合や誤動作により授業のタイムロスといったデメリットがあるが、どう対処するのか伺う

答弁) タブレットパソコンを効果的に活用していくために、良い実践事例を共有化していくことは、大変重要なことと認識している。本年度、モデル校で様々な授業での活用を行い、効果的な活用事例について蓄積を行なっている。今後、研究成果として発表会を開催する。発表会には全校から教員が参加し、情報の共有化を図っていく。来年度以降においても有効な授業実践の指導案や教材等を共有できるよう区内のすべての学校において、タブレットパソコンを活用した、質の高い教育活動の展開を図っていく。

また、活用時における誤操作によるタイムロスについては今後、習熟を図ることによりICT技能の高まりとともに、解消していくと考える。そして、機器の不具合についても安定してきており、電子黒板とのスムーズな連動により、効果的・効率的な授業を行なっていく。

【その他の質問項目】 ・助け合う「絆」ボランティア先進都市を目指して  
・防災士の養成について

竹内 あきひろ 〒116-0011 荒川区西尾久 7-60-10 TEL/FAX 03-5901-9132  
E-mail: akihiro@takeuchi.name ホームページ <http://t-akihiro.com/>